

NPO法人かがやけ安八 理事長

町民インタビュー

辻直人さん

[南今ヶ淵地区]

2018年11月に安八町初のNPO法人として設立された「かがやけ安八」理事長の辻さんにお話を聞きました。当日は発起人で理事の、富田鉦二さんにも同席していただきました。(4月6日)



聞き手/ 岩田 讓治
渡邊 明博
坂 悟
渡邊 裕光

自立した活力あふれる地域社会を目指し、安八町にNPO法人を立ち上げ、地道な活動を続けていく辻さん。開拓者精神に溢れた、熱い気持ちを語っていただきました。

—— NPO法人の立ち上げのきっかけは。

辻さん 前職で社員教育を担当していたときに「少子高齢化社会がもたらす地域の社会問題」を議論する機会があり、今後は官と民で「公」を良くしていくという発想が必要であることを知りました。そこで、県内で唯一NPO法人が存在しなかった安八町において、このままではいけないと思い、自らが先駆者となる決

意をしました。

—— どんな活動をしてみえますか。

辻さん 事業としては、昨年3月から高齢者向けの配食サービスを開始し、現在1日60食近く配達をしています。ボランティア活動としては、百梅園の除草や中須川沿いの清掃活動、さら

には、耕作放棄地を借り受け、さつまいろを栽培し、今年の梅まつりバザーで焼き芋にして販売しました。

—— 日頃心掛けていることは。

辻さん 自立です。自分がやりたいことを、自分で見つけて、自分でどんどんやっていくことです。

—— 今後の目標は。

辻さん 「安八町を元気にしたい」という意欲を持った仲間を募っていきたくです。配食サービスでは、4月から行政と連携して開始した見守り活動をしつかり軌道に乗せたいです。また、増え続ける空き家を活用して、誰もが楽しめる、昔懐かしい駄菓子屋を開店させたいと考えています。

—— 議会や町へ一言。

辻さん 町に活力を生み出すには、地域外から人や財を入れ、地域内取引で回して、地域から出ていく人や財を絞ることです。この循環を大きくするための施策をお願いできたらと思います。



表紙の題字「あんぱち」はまつおかともや松岡知弥さん森部こども園さくら組(現名森小1年)の作品です



◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

新型コロナウイルスは短期間で世界中に広まり、その勢いはまだ終わりの見えない状況です。

当町でも2月下旬からのイベント、会議等はほとんどが中止、町の施設も閉館となってしまいました。町では対策本部を立ち上げ対応策を検討・実施し、今日に至っています。3月議会は中止にすることはできず、定例会、委員会では、議事進行者と答弁者以外は全員マスク着用の異様な雰囲気の中で無事終了しました。今後、当議会にも大きな影響が出る可能性があります。いつ終わるか分からないだけに不安が募るばかりです。

(岩田讓治)

◆◆◆ 編集委員 ◆◆◆

委員長 岩田 讓治
副委員長 大平 文雄
委員 渡邊 明博
坂 悟
渡邊 裕光

議会の傍聴にお越しく下さい。次回の議会定例会は、6月です。日程は、安八町広報紙、広報無線でお知らせします。

紙面の都合上、全議論を掲載できませんので、抜粋しています。議会に関するご意見ご要望は、議会事務局までご一報ください。

TEL 議会事務局直通 0584-64-4931

FAX 0584-64-5011

E-mailでも受け付けています。

gikai@town.anpachi.gifu.jp



さつまいろの収穫祭